

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業一覧

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
1	必需物品供給事業	健康増進課	社会福祉施設等に消毒用エタノールクロス、サージカルマスク、体温計等を支給し、感染症対策を推進する。	R2.4～R3.3	3,907,852		669,263	3,238,589	社会福祉施設等に消毒用エタノールクロス、サージカルマスク、体温計等を支給した。	社会福祉施設等への必需物品の供給により、感染拡大リスクが軽減された。
2	公共施設等消毒支援事業	健康増進課	公共施設等で使用する消毒用エタノールクロス、感染症対策キット、N95マスク、プラスチック手袋等を購入し、感染症対策を推進する。	R2.4～R2.11	247,510		247,510		公共施設等で使用する消毒用エタノール、N95マスクを購入し、備蓄した。	消毒作業発生に備えた感染症対策物品を備蓄できたため、今後消毒対応への活用が期待できる。
3	医療・介護・保育等従事者応援給付金支給事業	介護保険課	町内医療・介護・保育等の事業所従事者に一律2万円の見舞金を支給し、感染症対策に苦慮する精神的負担の軽減を図る。	R2.5～R2.10	31,900,000		31,900,000		周防大島町医療・介護・保育等従事者応援給付金支給事業実施要綱を制定し、対象となる事業所又は法人ごとで申請を受け給付した。(事業所又は法人から支給対象者へ支給) ・支援金 1人あたり20,000円 ・申請 72件(1,595人) ・総額 31,900,000円	感染症対策に苦慮する医療・介護・保育等の事業所従事者の精神的負担の軽減を図ることができた。
4	子育て応援給付金	福祉課	住民基本台帳に登録されている中学生以下の児童・生徒1人につき一律2万円の生活支援金を支給し、感染症対策に苦慮する子育て世帯を支援する。	R2.5～R3.3	19,544,754		19,544,754		周防大島町子育て応援給付金支給事業実施要綱を制定し、給付事業を行った。 ・支援金 1人あたり20,000円 ・対象者 969人 ・総額 19,380,000円	感染症対策に苦慮する子育て世帯を支援することができた。
5	魚価急減対策支援事業	水産課	町内漁業協同組合の正組合員に一律5万円の魚価急減支援金を支給し、市場の停滞等による魚価の急減に苦慮する漁業者を支援する。	R2.5～R2.11	18,372,282		18,372,282		周防大島町魚価急減対策支援金交付要綱を制定し、業務を委託した町内各漁業協同組合及び県漁協支店から支援金を支給した。 ・支援金 1件あたり50,000円 ・申請 355件 ・総額 17,750,000円	市場の停滞等による魚価の急減に苦慮する漁業者の生活負担軽減を図り事業継続に資することができた。
6	商工業経営支援給付金事業	商工観光課	町内事業主に一律5万円の事業支援金を支給し、感染症対策に苦慮する事業者を支援する。	R2.5～R2.8	15,848,430		15,848,430		周防大島町商工業経営支援給付金交付要綱を制定し、業務を委託した周防大島町商工会から支援金を支給した。 ・支援金 1件あたり50,000円 ・申請 304件 ・総額 15,200,000円	感染症対策に苦慮する事業者を支援し事業継続に資することができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
7	医療機関における新型コロナウイルス感染拡大に対応した医療提供体制等構築事業(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	2つの町立病院で使用する区分制限用パーテーション及び人工呼吸器の整備に要する費用を病院事業特別会計に繰り出し、感染症対策を推進する。	R2.4～R3.3	5,393,900		5,393,900		東和病院は病棟内の区域制限のためパーテーションを整備、人工呼吸器を1台追加整備した。大島病院は感染症患者及び呼吸器疾患の患者に備え人工呼吸器を1台追加整備した。	院内における感染防止対策を行い、感染症を疑う患者の増加に備えながら医療提供を行うことができた。
8	災害対策事業	総務課	避難所開設時に使用する体温計、間仕切り、間仕切りテント、マット等を整備し、災害発生時の感染症対策を推進する。	R2.6～R3.3	3,372,710		3,372,710		非接触式体温計13個、避難所用ダンボール間仕切り130組、避難所用間仕切りテント27台、避難所用マット90個を購入し主要避難所11箇所へ配布した。	災害時や災害発生の恐れがある時に開設する避難所において、避難者のプライベートな空間を確保し、直接的な接触を避けることにより感染拡大リスクの軽減を図ることができる。
9	妊婦応援給付金事業	健康増進課	町内在住の妊婦に一律10万円の出産環境づくり応援給付金を支給し、安心して出産できる環境づくりを推進する。	R2.6～R3.3	5,400,000		5,400,000		周防大島町妊婦応援給付金支給事業実施要綱を制定し、妊婦から申請受付 ・支援金 1人あたり100,000円 ・申請 54人 ・総額 5,400,000円	妊婦とその家族の精神的経済的負担の軽減につながった。
10	社会生活維持関連業務従事者応援給付金支給事業	生活衛生課	一般廃棄物収集運搬及び処理施設従事者、斎場従事者、町営航路事業に従事する船員に一律2万円の見舞金を給付し、事業従事者の精神的負担の軽減を図る。	R2.6～R2.7	1,760,000		1,760,000		周防大島町社会生活維持関連業務従事者応援給付金支給事業実施要綱を制定し、支給対象者から申請受付・給付を行った。 ・支援金 1人あたり20,000円 ・申請 88人 ・総額 1,760,000円	感染リスクの高い社会生活維持関連業務に携わる従事者の精神的苦痛の軽減及びの切れ目のない業務の継続に資することができた。
11	花き生産業経営支援金事業	農林課	町内花き生産農家に一律5万円の支援金を給付し、収入が激減している花き生産農家を支援する。	R2.6～R2.10	350,000		350,000		周防大島町花き生産業経営支援金交付要綱を制定し、申請受付・給付を行った。 ・支援金 1件あたり50,000円 ・対象者 7件 ・総額 350,000円	収入が激減している花き生産農家の事業継続に資することができた。
12	畜産業経営支援金事業	農林課	町内畜産農家に一律5万円の支援金を給付し、収入が激減している畜産農家を支援する。	R2.6～R2.8	550,000		550,000		周防大島町畜産業経営支援金交付要綱を制定し申請受付・給付を行った。 ・支援金 1件あたり50,000円 ・対象者 11件 ・総額 550,000円	収入が激減している畜産農家の事業継続に資することができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
13	地域経済活性化支援事業	商工観光課	持続化給付金受給事業者へ持続化給付金の1/10の上乗せ支給(法人20万円、個人10万円限度)を行い、事業の継続を支援する。	R2.6～R3.3	54,072,787		54,072,787		周防大島町事業継続支援金支給要綱を制定し、業務委託を行った周防大島町商工会から、持続化給付金受給業者へ上乗せ支給した。 ・支援金持続化給付金の1/10(法人20万円、個人10万円限度) ・申請 法人92件、個人事業者368件 ・総額 53,348,619円	売上が著しく減少し、国の持続化給付金の給付を受けた人への上乗せ支給により、事業の継続につなげることができた。
14	地域経済活性化支援事業	商工観光課	宿泊飲食業で使用できるプレミアム商品券3,000口を発行し、事業の継続を支援する。	R2.7～R3.3	3,950,400		3,950,400		一般社団法人周防大島観光協会に補助金を交付し、7月～12月の6ヶ月間にわたりプレミアム商品券を販売した。 ・プレミアム商品券 1,173セット ・総額 11,730,000円	宿泊業、飲食業事業者の事業継続支援につながった。
15	公共施設等の管理維持体制持続化事業	商工観光課	町有7つの集客施設へ温度スクリーニングカメラを設置し、感染症対策を推進する。	R2.6～R2.8	2,260,720		2,260,720		温度スクリーニングカメラ一式を購入し、町内公共施設に設置した。	町有7か所の集客施設すべてにスクリーニングカメラを設置したことで、効果的な感染症対策が実施できた。
16	公共的空間安全・安心確保事業	教委総務課	町内14の小中学校で使用する体温計、消毒液等を購入し、感染症対策を推進する。	R2.6～R3.2	257,778		257,778		体温計14個、消毒液等を購入し、町内小中学校へ配付した。	感染拡大防止を図りながら、学校運営を継続することができた。
17	学校給食関連事業者等への応援事業	教委総務課	町内4つの給食センターの受託業者へ夏季休業返上に伴う日数増加分の委託費の増額を行い、事業の継続を支援する。	R2.6～R2.9	3,160,400		3,160,400		給食センターの受託業者へ、夏季休業返上に伴う日数増加分の委託費を増額した。	委託費の増額により、受託業者の事業の継続を支援することができた。
18	学校臨時休業対策費補助金	教委総務課	学校給食に係る牛乳・パン納入業者に臨時休業に伴う違約金を支出し、事業の継続を支援する。	R2.6～R2.9	520,809	390,000	130,809		牛乳・パン納入業者へ、臨時休業に伴う違約金を支給した。	違約金を支出することで、納入業者の事業の継続を支援することができた。
19	スクールバス運行事業者等への応援事業	教委総務課	スクールバス9路線の運行事業者へ夏季休業期間中の授業実施日分の運行経費を支出し、事業の継続を支援する。	R2.9～R2.10	1,122,340		1,122,340		スクールバス運行事業者へ、夏季休業期間中の授業実施日分の委託料を増額した。	委託費の増額により、受託業者の事業の継続を支援することができた。
20	学校給食無償化事業	教委総務課	町立小中学校の児童・生徒の5月～12月の給食費を減免し、臨時休業に伴う保護者の負担軽減を図る。	R2.5～R2.12	20,866,755		20,866,755		児童・生徒の5月～12月の給食費を減免した。 ・児童生徒 618人 77,331食分	給食費を減免することで、保護者の負担軽減を図ることができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
21	公共的空間安全・安心確保事業	教委総務課	町内4つの給食センターに夏季休業期間中の高温対策に係る空調増設、工場扇を整備し、感染症対策を推進する。	R2.6～R2.8	2,184,380		2,184,380		4給食センターに空調の増設と工場扇の整備を行った。	夏季休業返上期間中の高温対策を行うことにより、給食調理場の環境を改善することができた。
22	学校給食野菜出荷団体応援事業	教委総務課	学校給食への野菜出荷団体に対し5万円の応援給付金を支給し、地産地消の推進を図る。	R2.6～R2.7	50,000		50,000		野菜出荷団体に対し、5万円の応援給付金を支給した。	給付金を支給することで、団体の事業継続を支援することができた。
23	学校の臨時休校に伴う学習等への支援事業	学校教育課	午前中事業の実施に伴う下校時の臨時便をチャーターし、離島中学生の早期帰宅を支援する。	R2.4～R2.5	94,200		94,200		新型コロナウイルス対応で午前中みの授業になったが、定期便では帰宅時間が遅くなるため、臨時便をチャーターした。	定期便までの時間を待つことなく、早期帰宅ができ、生徒の負担軽減になった。
24	遠隔・オンライン学習の環境整備・GIGAスクール構想への支援事業	学校教育課	町内14の小中学校にモバイルルーター等の整備とICT機器活用サポーターの設置を行い、ICT機器の効果的な活用を図る。	R2.8～R3.3	3,263,890		3,263,890		再度の学校休業に備え、Wi-Fi環境の無い家庭でも、学校と家庭とでオンライン授業を可能とすると、貸し出し用モバイルルーター30台を整備するとともに、一人一台のタブレットの初期設定や学校への配置及び授業でタブレットを使用する場合のICT機器等の操作支援を行った。	再度の休校措置は無く、モバイルルーターを家庭に貸し出すことはなかったが、教師がモバイルルーターを持ち、Wi-Fiのつながりにくい特別教室や校外での学習でも効果的に活用した。 また、ICT支援員により、一人一台のタブレットの配置を完了することができ、授業の支援による効果的な活用が進められた。
25	学校の臨時休校に伴う学習等への支援事業	学校教育課	町内14の小中学校に学習支援員を配置し、臨時休業時の学習等を支援する。	R2.7～R3.3	1,230,510		1,230,510		臨時休業に伴う学習の遅れや学習効果をあげるための児童生徒への支援を行った。	小学校10校中8校、中学校4校中1校が支援員を活用し、児童生徒へのきめ細かな学習支援を行うことができた。
26	公共的空間安全・安心確保事業	社会教育課	町内4つの社会教育施設に体温計、消毒液等を購入し、感染症対策を推進する。	R2.6～R3.2	290,026		290,026		非接触型体温計7台及びエタノール製剤を購入し、町内公民館図書館等に配布した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図ることにより、各施設の運営を実施することができた。
27	医療機関における新型コロナウイルス感染拡大に対応した医療提供体制等構築事業(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	3つの町立病院・医院で使用する温度スクリーニングカメラの整備に要する費用を病院事業特別会計に繰り出し、感染症対策を推進する。	R2.6～R2.8	646,800		646,800		外来患者、来院者から発熱患者を早期発見するため、3施設に各1台スクリーニングカメラを整備した。	来院者自身で体温確認でき、感染防止策に役立てることができた。
28	防災活動支援事業	総務課 介護保険課 総合支所 教委総務課 社会教育課	避難所開設時の非常用電源の確保を図るため、AC100Vコンセント付きハイブリッド車を11台整備する。	R2.9～R3.3	24,430,672		24,430,672		避難所開設時の非常用電源の確保を図るため、AC100Vコンセント付きハイブリッド車を11台整備した。	新型コロナ感染拡大時における自然災害等の避難所設置の際や停電時等の非常用電源として活用が期待できる。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
29	行政IT化事業	政策企画課	町行政のテレワーク・WEB会議システム等の整備と町ホームページの改修により、感染症対策と地方創生に必要なデータの可視化・統計基盤の整備を図る。	R2.9～R3.3	36,785,276		35,812,178	973,098	テレワーク対応システムの整備、WEB会議システムの整備、地方創生支援システムの導入、RPAの導入、町ホームページの改修、テレワーク対応型情報系端末の整備、クラウド開始に伴う改修、電算室入退室装置の設置、タブレットスタンド・パソコンスタンドの整備を行った。	システム等の整備により、接触や移動を避けての様々なWEB会議の開催、基幹系システムの数値・データの可視化、RPAの導入による職員の負担軽減、コロナなど重要な情報発信・検索性の向上、コロナによる職場のロックダウンへの対応、収入消込データ変換プログラムの改修によるクラウド対応、非接触による電算室の入退出、入退出のログも確実に可能となるなど、行政のスマート化、デジタル化を推進することができた。
30	映像産業を軸とした観光振興・無観客配信・健康支援事業	政策企画課	ケーブルテレビで制作番組やライブ映像を配信する番組送出システムを強化し、感染症対策の一環である外出自粛を支援する。	R2.11～R3.3	10,625,000		10,625,000		ケーブルテレビ周防大島チャンネルの自動番組送出装置を庁舎内から操作できるようにすることで、災害時やコロナ発生情報など町民に有益な情報を迅速に伝えることが出来るようになった。	
31	公共的空間安全・安心確保事業	税務課	確定申告相談時の電源確保と3密回避等の感染症対策を図るため、AC100Vコンセント付きハイブリッド車1台及び飛沫防止パーテーション、空気清浄機、アルコール消毒液等を購入。	R2.9～R3.1	2,475,320		2,475,320		飛沫防止パーテーション15枚、空気清浄機3台、アルコール消毒液15個、除菌シート15個、マスク(50枚/箱)3箱、空間除菌剤15個を購入。会場混雑時の対応として、AC100Vコンセント付ハイブリット車でも申告相談が行えるよう体制を整えた。	購入物品を会場に設置することにより、感染拡大リスクを軽減することができた。
32	公共的空間安全・安心確保事業	総務課	飛沫ブロッカー、消毒液等を購入し、投開票所の感染症対策を図る。	R2.9～R2.11	4,096,400		4,096,400		飛沫ブロッカー1850を160組、アルコールスプレー(手指消毒用)100本、同(物品消毒用)100本を購入し、町内全ての期日前投票所並びに当日投票所に設置するとともに、飛沫ブロッカー卓上用を52台購入し、開票所に設置した。	飛沫ブロッカーの設置とアルコールスプレーによる消毒の徹底で、感染拡大リスクを軽減することができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
33	シルバー応援クーポン券事業	福祉課	70歳以上の町内在住者に一律5千円のクーポン券を配布し、商工業の活性化と高齢者支援を行う。	R2.9～R3.3	35,693,654		35,693,654		シルバー応援クーポン券事業実施要綱を制定し、町HPにて事業を周知、取扱店舗の募集を行った。クーポン券等を町内印刷業者へ発注するとともに、町商工会へ換金等事務を業務を委託した。クーポン券等納品を受け、対象者7,121人へクーポン券を発送し、クーポン券の利用及び換金を行った。 ・対象者 町内在住70歳以上の方7,121人 ・クーポン券5,000円分 ・発行額 35,605,000円 ・利用額 33,301,000円	半額クーポンであるため、経済効果としては6,660万2千円以上であり、新型コロナウイルス感染症により売上減少に直面する町内事業者の継続支援及び町内在住高齢者への経済的な支援につながった。
34	医療提供施設支援事業	健康増進課	町内22の民間医療提供施設に支援金(病院100万円、診療所50万円、歯科医院30万円、薬局25万円)を給付し、受診控え等に苦慮する施設の財政支援を行う。	R2.9～R2.11	8,400,000		8,400,000		町内の民間医療提供施設に支援金を給付した。 ・病院1 1,000,000円 ・診療所7 3,500,000円 ・歯科医院8 2,400,000円 ・薬局6 1,500,000円 ・総額 8,400,000円	受診控え等に苦慮する医療提供施設等の財政負担の軽減を図ることができた。
35	インフルエンザ予防接種費用助成事業	健康増進課	生後6か月以上の町民のインフルエンザ予防接種費用を助成し、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の抑制と医療体制の維持を図る。	R2.9～R3.3	43,243,225		43,243,225		周防大島町インフルエンザ予防接種費用助成事業実施要綱を制定し、中学生以上の町民に対して、1人1回、インフルエンザ予防接種費用を助成した。(生後6か月から小学6年生は、県が接種費用助成事業を実施。) ・利用者 9,022人分 ・接種費用 42,982,225円	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の抑制と医療体制の維持につながった。
36	保健衛生対策事業	健康増進課	個別対応の保健指導・健康教室を行うための器具を購入し、コロナ太りの解消等の生活習慣改善を図る。	R3.3～R3.3	1,369,280		1,369,280		内臓脂肪計、活動量計、血流計、パルスオキシメーターを購入した。	健康教室や健康相談、保健指導で活用し、内臓脂肪型肥満の発見や重症度の把握(見える化)につながり、行動変容に伴う生活習慣の改善を図ることができた。
37	保健衛生対策事業	健康増進課	AC100Vコンセント付きハイブリッド車2台を購入し、感染拡大時等の防疫作業、小規模集団検診及び保健活動等を行う。	R2.9～R3.2	6,928,228		6,928,228		AC100Vコンセント付きハイブリッド車2台を購入し、感染症対策車として活用した。	感染症拡大防止に関する物品の移送およびワクチン移送に向けた安全性の確保を行うことができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
38	農業経営性支援金事業	農林課	出荷実績のある農業生産者へ一律2万円の支援金を給付し、経営を支援する。	R2.9～R3.3	17,210,183		17,210,183		周防大島町農業経営支援金交付要綱を制定し、事業の一部を山口県農業協同組合周防大島町統括本部へ業務委託するとともに、農林課でも申請の受付を行った。 ・支援金 1人あたり20,000円 ・申請 821人 ・総額 16,420,000円	農業生産者の事業継続を支援することができた。
39	インドア花いっぱい応援事業	農林課	経営に苦慮する花き生産者を支援のため、花きを購入し町内11の主要施設で展示を行う。	R2.10～R3.2	1,320,000		1,320,000		フラワーアレンジメントなどを購入し、町内の11の公共施設へ展示した。	経営に苦慮する花き生産農家及び販売店の経営継続の支援を行うことができ、公共施設内にもコロナで閉塞的な空気を和らげる空間を作ることができた。
40	避難生活改善対策事業	農林課	避難所付近の排水機場に非常用大型発電機1台を整備し、避難所の安全確保を図る。	R2.10～R3.3	8,311,600		8,311,600		避難所付近の排水機場に非常用大型発電機1台を整備した。	非常用大型発電機の設置により、避難所近隣にある排水機場が停電の際も排水機場を稼働させることができ、避難所の安全が確保できるようになった。
41	公共施設等の管理維持体制持続化事業	商工観光課	町内3つの温浴施設のろ過循環配管及び館内の洗浄・消毒を行い、感染拡大防止と円滑な管理を図る。	R2.6～R2.7	3,636,600		3,636,600		町内3つの温浴施設のろ過循環配管及び館内の洗浄・消毒を行った。	町内3箇所の温浴施設のろ過循環配管及び館内の洗浄・消毒を行うことにより、感染拡大防止を図ることができた。
42	公共施設等の管理維持体制持続化事業	商工観光課	町内4つの交流拠点の指定管理者へ支援金を給付し、運営に苦慮する施設運営の支援を行う。	R2.6～R3.3	52,400,000		52,400,000		町内4つの交流拠点の指定管理者へ支援金を給付した。 ・対象施設 4施設 ・総額 52,400,000円	運営に苦慮する施設運営の支援を行うことができた。
44	地域経済活性化支援事業	商工観光課	観光CMの制作・放映を行い、落ち込んだ観光客の誘客を行う。	R2.10～R3.3	1,100,000		1,100,000		テレビ局へ業務委託し観光CMの制作・放映を行った。	観光CMの制作・放映を行い、落ち込んだ観光客の誘客を図ることができた。
45	地域経済活性化支援事業	商工観光課	大手アウトドア用品メーカーと協力し登録会員に情報発信することで、落ち込んだ観光客の誘客を行う。	R2.9～R3.3	462,000		462,000		一般社団法人周防大島観光協会へ事業実施に補助金を交付し、大手アウトドアメーカー用品メーカーの登録会員に情報発信した。	登録会員にアウトドアフィールドとして周防大島町の知名度向上を図り、誘客を図ることができた。
46	地域経済活性化支援事業	商工観光課	町内事業者が導入する新型コロナウイルス対策リフォーム経費の補助を行い、感染拡大防止を図る。	R2.9～R3.3	59,870,450		59,870,450		周防大島町新生活様式導入補助金交付要綱を制定し、町内事業者が導入する感染防止のリフォーム経費を補助対象経費の5分の4以内の額を50万円を限度として交付した。 ・申請 157件 ・総額 59,870,450円	町内事業者の行う感染防止対策を支援し、事業者及び来客者の感染予防を図ることができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
47	防災活動支援事業	総務課	WEB版ハザードマップを構築し、感染症予防を考慮した迅速な避難を促進する。	R2.10～R3.3	4,008,400		4,008,400		各種災害ハザードマップのweb版の構築を行った。	町HPへのPDF掲載及び紙ベースで各戸に配布しているハザードマップをwebデータで提供することにより、いつでも誰でも危険箇所、避難所等の確認ができ、接触の機会と感染拡大リスクの軽減を図ることができた。
49	公共的空間安全・安心確保事業	教委総務課	避難所となる町内6つの小中学校のトイレを洋式化し、感染拡大防止と安心・安全な環境整備を図る。	R2.9～R3.3	14,767,060		14,767,060		6小中学校のトイレの洋式化改修を実施した。	トイレの洋式化により、感染拡大リスクが軽減された。
50	公共的空間安全・安心確保事業	教委総務課	避難所となる町内1つの小学校へ空調を整備し、感染拡大防止と安心・安全な環境整備を図る。	R2.9～R2.11	1,298,000		1,298,000		1小学校のランチルームへ空調設備を設置した。	空調を設置することで、夏季休業返上期間中の教室環境を改善することができた。
51	公共的空間安全・安心確保事業	教委総務課	2つの学校給食センターへ空調設備を改修し、安全な給食調理場環境の整備を図る。	R2.9～R3.3	20,322,500		20,322,500		2学校給食センターの空調設備を改修した。	空調設備を改修することで、給食調理場環境を改善することができた。
52	公共的空間安全・安心確保事業	教委総務課	4つの学校給食センターへオゾン発生装置を整備し、安全な給食調理場環境の確保を図る。	R2.9～R2.11	2,714,800		2,714,800		4学校給食センターへオゾン発生装置を整備した。	オゾン発生装置を整備することにより、感染拡大リスクが軽減された。
53	図書館パワーアップ事業	社会教育課	4つの町立図書館に除菌機を設置し、感染リスクの軽減と利用者の安全確保を図る。	R2.9～R3.3	2,204,400		2,204,400		除菌BOXを町内4図書館に8台配備した。	不特定多数の人が手に取る書籍を除菌することにより、安心して図書館を利用することができるようになった。
54	公共的空間安全・安心確保事業	社会教育課	社会教育・社会体育施設のトイレ16か所を洋式化し、衛生環境の向上を図る。	R3.1～R3.3	4,488,320		4,488,320		公民館をはじめ、町内9施設16か所のトイレを洋式化した。	トイレの洋式化による新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、各館の運営継続を図ることができた。
55	公共的空間安全・安心確保事業	社会教育課	文化交流センターのパソコン工房・体験学習準備室に空調機を設置し、利用者の感染症対策向上を図る。	R2.9～R2.10	385,000		385,000		大島文化交流センターにあるパソコン工房・体験学習準備室に空調機を2台設置した。	空調機の設置による新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をにより、利用者が安心して施設を利用することができるようになった。
56	公共施設等の管理維持体制持続化支援事業	社会教育課	3つの社会教育・社会体育施設の指定管理者に支援金を給付することで、施設運営の維持を図る。	R2.10～R2.12	1,020,000		1,020,000		緊急事態宣言に伴い休館を依頼した3施設の指定管理者に対して支援金を交付した。 ・対象施設 3施設 ・総額 1,020,000円	支援金を交付することにより、施設の継続運営を支援することができた。

No.	事業名	担当課	事業の概要	事業の期間	総事業費	財源内訳			取組状況	事業の効果
						国庫補助額	交付金充当経費	その他		
57	学校の臨時休業に伴う学習等への支援(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	町立看護専門学校が予定していた研修旅行中止に伴うキャンセル料に充当し、参加予定者の負担軽減を図る。	R2.9～R2.10	1,822,800		1,822,800		令和3年2月に予定していたハワイ研修が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、参加予定者(生徒40名、教職員2名)のキャンセル料を負担した。	海外での貴重な研修機会が中止となったが、キャンセル料に充当することで、参加学生の負担軽減になった。
58	デジタル技術による地域の医療機関等機器整備支援(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	町立大島病院のオンライン面会用機器を整備し、面会者の利便性向上を図る。	R2.10～R3.2	244,640		244,640		大島病院の各病棟へオンライン面会用の機器(ノートパソコン2台、マイク付スピーカー3台、LAN配線工事)を整備した。	緊急事態宣言の発令等で、面会制限をせざるを得ない状況であったが、オンライン面会で患者と家族がつながり、不安を軽減することができた。
59	デジタル技術による地域の医療機関等機器整備支援(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	町立大島病院に大型ディスプレイを設置し、来院者への情報提供による感染拡大防止を図る。	R2.11～R2.12	133,960		133,960		大島病院待合室に大型情報ディスプレイ1台を整備した。	来院者に対して、コロナ情報だけでなく感染防止対策の啓発や休診のお知らせなど幅広く情報を発信し、感染拡大防止を図ることができた。
60	デジタル技術による地域の医療機関等機器整備支援(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	病院事業局にWEB会議用機器を整備し、情報共有と感染防止拡大を図る。	R3.1～R3.3	388,080		388,080		WEB会議用にセルラーモデルiPadを整備した。(7施設に各1台配備)	施設長会議をはじめ、施設間で行われる様々な職種の会議をWEB形式で行うことで密を避け、感染防止対策につながった。
61	遠隔・オンライン学習の環境整備支援事業(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	町立看護専門学校に遠隔授業用機器を整備し、学習機会の確保と感染防止対策を図る。	R2.11～R3.3	765,820		765,820		講師用のiPad14台、学生教室用にノートパソコンを3台整備した。	校内、校外問わず遠隔・オンラインで授業を行うことにより、安全な学習環境を確保することができた。
62	デジタル技術による地域の医療機関等機器整備支援(病院事業特別会計繰出)	病院事業局繰出	2つの町立病院・医院にキャッシュレス決済を導入し、感染拡大防止を図る。	R2.11～R3.3	1,980,000		1,980,000		会計窓口にキャッシュレスカード決済用端末を整備した。(2医療機関に各1台)	接触防止の観点からキャッシュレス決済を導入し、感染防止対策を継続的に行うことができた。
63	子ども・子育て支援給付金	福祉課	小学校の臨時休業に伴い児童クラブ及び児童館の特別開所を行い、子育て環境の整備を図る。	R2.4～R3.3	1,613,997	537,000	539,997	537,000	R2.4.17から5.24までの緊急事態宣言に伴う小学校一斉臨時休業期間中、6児童クラブ及び1児童館の特別開所を行った。	小学校の臨時休業期間中の子育て環境の確保に貢献することができた。
64	学校保健特別対策事業費補助金	教委総務課	町内14の小中学校の再開に伴う感染症対策及び学習保障等を行い、感染症リスクの抑制を図る。	R2.6～R3.3	13,819,789	6,909,000	6,910,789		町内14小中学校へ1校当たり100万円を補助した。	感染症対策及び学習保障等を行い、感染拡大リスクが軽減された。
合計					590,954,687	7,836,000	578,370,000	4,748,687		